

10億 削減の章、始めます。

電気料金4億円の削減は序章。新たな無駄を【徹底的】に削除!!

久保高章 NEWS

市政報告 なんとかしよう!「あまがさき」

第37号

くぼ たかあき  日本維新の会

民間の経営感覚で市政に取り組む!

会社経営を26歳より約30年間行って参りました。その経験を活かし先ずは、原価意識を高く持ち、公共性に配慮しつつ『合理的・効率的』に節約できる無駄を削除、その財源を教育や福祉、又、未来への投資に役立てます。そして、尼崎を関西の【中心的な街】にしたいと思えます。

Contents

第37号 -目次-

- 01. **実績報告** 年間「約4億円」のコスト削減が実現!
- 02. **実績報告** 小・中学校にエアコン設置、中学校給食が実現!

徹して!無駄を削除!

尼崎市議会議員

【維新の会】副幹事長

会派室

尼崎市東七松町1-23-1

TEL.06-6489-6399

FAX.06-6489-6458



携帯

090-8148-4748



メール

kubo4748@yahoo.co.jp

【ブログ】<http://ameblo.jp/kuboama/>

【URL】<http://kubotakaaki.com/blog/>

ver.A8

01. 実績報告 尼崎市のコンピュータシステム大改革の章

年間「約4億円」のコスト削減が実現!

「私の指摘、提案にて【約42年】続いた市のコンピュータシステムの随意契約、ついに終止符」

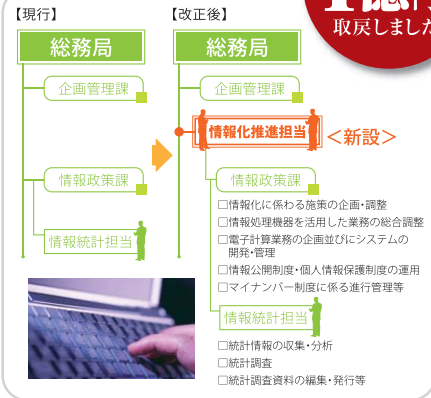
尼崎市ではこれまで、数多くのコンピュータシステム(住民記録システム、税システム、児童手当システム等)の構築・運営を日本ユニシス社、**1社のみの随意契約**で昭和47年より、なんと**【42年間】委託**し続けていた。

しかし、現在、日本ユニシス社との一社随意契約は全国的にも本市のみであり、業者間の競争がないことに驚き、早速、研究調査を行い、各業者間の競争の上、導入される「**オープン化**」の**推進**が望まれることを2回続けて定例会にて訴えた。

その結果、市長より「オープン化」を進めるとの答弁を頂き、期間は平成32年度末までにすべてのシステム(住民記録/H30年1月、国保・年金・後期高齢/H30年末、児童手当/H31年末、介護/H32年中旬、税務/H32年末)をオープン化する予定と答弁した。**オープン化による維持管理費の効果額は【年間4億円以上削減】(約10億から約6億)**が可能となる。



皆様の
4億円を
取戻しました!



02. 実績報告 教育環境改善の章

小・中学校にエアコン設置、中学校給食が実現!

「私の1年間の訴えがついに実り・・・市がようやく動き出す」

尼崎市の学力は全国的に見ても高くない。その一つの要因として空調や給食等の教育環境が整えられていないことが挙げられる。教室の温度測定調査結果によると小学校で30度超えの教室割合は34.9%、37度に達している教室もある。

また平成24年度の尼っ子健診では、14歳で基準値を超える有所見率(健診結果に異常あり)が48.6%もある結果となった。私はこれら状況を知り、まず教育環境を整えることが先決だと考え、市に対して訴えを始めた。各会派でも教育環境について長年に亘って訴えを続けていたが、**これまで市は、財政難を主な理由として具体的な計画を出していなかった。**そこで私は、まず、空調と中学校給食の初期投資費用及び維持管理費用を調査し初年度合計費用を算出した。

そして、その予算額に合う形で参考欄にあるような**各種削減額による財源の捻出方法**について、1年間市へ提案し続けた。その結果、平成26年9月議会の質問にて財政難ではなく「今後、本市施策全体の見直しを進めて行く中で、財源捻出に向けた具体的な調整を進めて行く」と前向きな答弁を受けてから1週間後、各社新聞より、来年度から3年間で**全小中学校に空調を設置し、その後に中学校給食を実施**することが掲載された。

主な財源提案内容

- 1) 本市のコンピュータシステムを一社随意契約から複数社参入可能にすることによる、維持管理経費約4億円削減部分の活用。
- 2) 外郭団体への普通財産の貸付料、行政財産の使用料の無料、減額による隠れ補助金約3億2千万円からいくらか徴収する事はできないか。
- 3) 平成28年度より市バス民営化による効果額約5億円を回す。等、その他、多項目にわたり提案。



皆様の
4億円が
役立ちました!

身を切る改革始動。



尼崎市議会「維新の会」は、平成28年11月より市の一般財源からの政務活動費、月10万円/1人を使用せず自らの報酬より月10万円/1人を拠出して政務活動のために使用します。平成29年4月分からは、政務活動費の交付申請も行いません。また、年度末にて残額があれば、被災地等に寄付することを決定しました。我々「維新の会」は、従来政務活動費をほぼ100%使用し、政務活動を行って参りました。今後は自らの報酬で活動を続け、徴収金は尼崎市議会「維新の会」のHPにて公開して参ります。これら活動によって、次年度現状のままの人数であれば、年間480万円(120万円×4名)の皆様の税金が一般財源として活用できることとなります。「維新の会」ではこの【身を切る改革】を実行して参ります。

10億 削減の章、始めます。

市政・市議会活動報告
なんとかしよう!「あまがさき」
第37号

【発行日】2017年1月10日
【発行責任者】久保 高章



久保 高章 くぼ たかあき プロフィール

- 【学歴】1976年 関西大学第一中学校 卒業
1979年 関西大学第一高等学校 卒業
1989年 関西大学 商学部 卒業
2010~13年 関西学院大学 法学部 聴講
- 【経歴】2013年 維新政治塾 一期生修了
2013年 尼崎市議会議員 初当選
<2016年 文教委員会>

1960年生まれ<56歳>
株式会社 栄和 (代表取締役)
家族構成 / 妻、一女一男
趣味・特技 / 剣道二段、釣り
サイクリング



「この市政報告は、自費作成しています」